

(様式 1)

2020年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：税法Ⅲ	
担当教員名：金子輝雄	
授業科目概要：  租税法も法律ではあるが、他の法律と比べて非常に専門的・実践的性格が強いものとなっている。それゆえ、実務経験のない者が学修する場合には、ある程度の税務実践を知っておくことが求められる。本講義では、そのことを念頭に、税法と財政、租税法の基本原則、税務行政、税務プロフェッション等、税法に係る基礎知識を修得し、次に租税実体法の概要、特に法人税法、消費税法、所得税法を概略的に学修する。また、国際税法も関連でみていく。最後に、租税関連手続きを学ぶ。初学者は実体法の修得に目を奪われがちであるが、納税者の権利を擁護し、健全な納税慣行を維持するためには、国税通則法、国税徴収法、租税救済法、租税制裁法等のいわゆる手続法の学修が不可欠である。	
履修上の留意事項：  研究論文の作成を見据えた学修が望まれる。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：『現代税法入門塾』 著者／編者：石村耕治編 出版社：清文社 出版年：最新版	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
評価方法及び判定基準：  出席状況、質疑応答の頻度、理解の程度等を総合的に勘案して決定する。 試験は行わない。	
授業目標及び進め方：  回毎に取り上げられるテーマについて、指定した教科書の部分を精読し、レジュメとしてこれをまとめ、発表してもらおう。教師と受講生が議論を重ね理解を深めていく。	

(様式 1)

第1回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：税法学をどのように学べばよいか 教科書／参考書 1. 1
第2回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：税金・財政・金融・納税者 教科書／参考書 1. 2
第3回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：課税庁の仕組みと役割 教科書／参考書 1. 3
第4回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：納税義務者・租税基本原則・税務専門職 教科書／参考書 1. 4～1. 6
第5回	テーマ：租税実体法 内 容：法人税法 教科書／参考書 2. 1
第6回	テーマ：租税実体法 内 容：消費税法 教科書／参考書 2. 2
第7回	テーマ：租税実体法 内 容：相続贈与税法 教科書／参考書 2. 3
第8回	テーマ：租税実体法 内 容：所得税法と各種所得の計算 教科書／参考書 3. 1、3. 2
第9回	テーマ：租税実体法 内 容：所得控除と税額控除 教科書／参考書 3. 3、3. 4
第10回	テーマ：租税実体法 内 容：その他の国税と地方税法 教科書／参考書 2. 4, 2. 5
第11回	テーマ：租税実体法 内 容：国際税法 教科書／参考書 4. 1
第12回	テーマ：租税手続法 内 容：租税確定手続 教科書／参考書 5. 1～5. 3
第13回	テーマ：租税手続法 内 容：滞納処分と強制徴収 教科書／参考書 5. 4
第14回	テーマ：租税手続法 内 容：租税救済法と租税制裁法 教科書／参考書 6, 7
第15回	テーマ：租税手続法 内 容：税金や財政の諸問題 教科書／参考書 9